

従業員一人ひとりが仕事、会社に誇りを持つことが 社会からの信頼、持続的な発展につながる。



大和証券グループ本社
執行役社長

鈴木 茂晴

日々の業務を通じて社会に貢献することこそCSR。
コンプライアンス重視がよい業績につながる。

私は、CSRとは何か特別なことをするのではなく、企業が本業を通じて社会に貢献すること、それが本質だと思っています。そのためには、従業員一人ひとりが常に社会を意識しながら日々の業務に取り組むことがもっとも重要だと思います。

私たちの証券ビジネスは価格変動のある金融商品を取り扱っていますので、「自分はきちんとした仕事をした」という自負心を持つことが何よりも重要です。コンプライアンスに反したビジネスによる利益はいりません。きちんとした仕事をしていれば、利益はあとからついてきます。コンプライアンスは業績と相反するものではなく、むしろ持続的成長のための一番の近道だと思います。私は、そうした意識が従業員全体に浸透したからこそ、大和証券グループの業績も向上したのだと確信しています。

CSRの推進を中期経営計画に。
SRIの普及・浸透に向け、アクションを。

大和証券グループでは、2006年4月に、2008年度までの3か年の中期経営計画を策定しました。そのなかで、新たにCSR戦略を設け、「SRI(社会的責任投資)の普及促進」を明記しました。

大和証券グループは、SRIファンドの取扱い規模が日本で最大となっています。環境や社会に配慮している企業は、長期的には業績が向上してよいパフォーマンスを上げると期待され、投資家にも満足していただけると考えています。より多くのお客様にSRIに対する理解を深めていただけるよう努めていきます。

働きがいのある会社だから株主価値も上がる。 従業員は重要なステークホルダー。

私が経営者として常に考えているのは、大和証券グループを、従業員にとって働きがいのある会社にしたということです。働きがいのある会社とは、従業員が会社を信頼し、自分の仕事が社会の役に立っているという自覚を持ち、かつ働いている仲間同士の連帯感がある会社だと思います。

企業である以上、株主価値の最大化が重要な命題であり、私たちにとっても大きな目標です。会社の所有者は株主ですが、会社は株主のためだけにあるのではなく、社会に必要なからこそ存在できるのです。株主だけでなく、お客様や取引先、従業員など、すべてのステークホルダーにとって望ましい存在でなければ、株主価値を最大化することはできません。

私は、そのための重要なステークホルダーは従業員だと思っています。他のステークホルダーと会社との接触はすべて従業員を通じて行なわれ、従業員の行動=会社の行動です。また従業員が一生懸命働いて会社の業績が上がれば、その結果、株主価値も向上します。従業員を大切にすることが、すべてのステークホルダーを大切にすることにつながると考えています。

優秀な人材が活躍できる職場を実現するため、 女性が働きやすい環境づくりに注力。

私は、証券ビジネスにおける女性の力に大いに期待しており、女性が働きやすい職場環境づくりを推進しています。昔は、証券会社はともすれば男の世界であるというイメージがありましたが、これは、優秀な女性に活躍の場を十分に提供できていなかったためだと思います。

証券ビジネスには資格やスキルが必要ですので、入社してすぐに即戦力として活躍することはなかなかできません。女性従業員が入社から何年かかけてスキルや経験を蓄積した頃に、結婚や出産などを理由に辞めてしまうのは、会社にとって大きなマイナスです。

大和証券グループでは、すでに支店長をはじめとした管理職を務める女性も数多くでてきており、さまざまな分野で能力を発揮しています。今後とも、男女ともに働きがいのある職場であるよう、ライフプランに合わせた働き方ができる環境づくりをすすめていきます。



従業員の誇りがお客様や社会の信頼に。 持続的な発展の鍵は「人」がすべて。

この『持続可能性報告書』をはじめとして、テレビコマーシャルや広告などは、会社の取組みや考え方を世間一般に伝えるものですが、私は、従業員に対する会社からのメッセージでもと考えています。そういう情報にふれることにより、従業員が自分の会社に誇りを持つようになることに意義があると思います。大和証券グループは、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)や責任投資原則(PRI)に署名していますが、こうしたコミットメントをすることも、従業員に対するメッセージになると考えています。

会社の取組みを従業員がよく理解し、誇りを持って働くことで、従業員を通じてそれが外部へ伝わり、お客様や社会からの信頼にもつながります。CSRとは、こうした社会からの信頼を得ることにほかなりません。

自分の会社に高いロイヤリティを持つ人、自分の成功は会社の成功であり、会社の喜びは自分の喜びだと思える人をどれだけつくり出せるか、それが企業の持続的な発展を左右する鍵になると思います。私は、大和証券グループを、そうした「人」が数多く活躍する会社にしていきたいと考えています。